

笠岡市地域公共交通活性化協議会

平成20年2月26日設置
平成21年3月18日連携計画策定



概要

笠岡市は、岡山県の南西部に位置し、人口約55,000人、面積136km²の都市である。また、笠岡市の特徴として有人7島からなる笠岡諸島を抱えているため、公共交通機関もバスを始めとする陸上交通、旅客船・フェリーなどの海上交通を有している。陸上交通・海上交通ともに、市民生活を支える重要な移動手段であるが、赤字を抱える路線・航路が多く、それらは国・県・市での補助金に依存している。こうした状況下で、市民生活に欠かせない公共交通を将来にわたって維持するため、笠岡市の公共交通の将来のあり方を示した「笠岡市地域公共交通総合連携計画」を策定し、その実現を図ることで、利用者の満足度の向上と持続可能な公共交通体系の構築を目指す。

○新たな交通手段(デマンド交通など)の導入

笠岡市には、14路線の路線バスが運行しており、比較的交通空白地が少ないが、急傾斜地にある集落も少なくなく、バスを利用したくても停留所まで来れない高齢者も多い。

そのため、路線バスに代えて、できるだけ家の近くまで来ることができる交通手段(デマンド交通など)を、実証運行の結果を踏まえ、導入する。

○航路の統合

現在、笠岡諸島の航路は、旅客船3社とフェリー3社で運航され、有人7島すべて確保されている。

ただ、旅客船2社は国庫補助航路であり、主な利用者である笠岡諸島の人口も減り続けており、航路事業者の収支が悪化することが予測される。

そのため、さまざまなニーズに応じた運航ダイヤの設定などにより利用者を確保しつつ、航路の効率的な運航を行い経営基盤の強化も図るため、航路の統合を目指す。

○公共交通の利用促進策の実施

笠岡市には、陸上交通と海上交通があるため、両交通の連携を図るためにも、その情報をわかりやすくまとめた「かさおか公共交通総合マップ」を作製し、市民の利用促進に加え、観光客の利便性の向上も図っている。

かさおか公共交通
総合マップの作製
(H21)

デマンド型乗合タク
シーの実証運行
(H22~H23)

笠岡諸島の
航路の統合
(H21~H23)

